

「福島原発災害チャリティー講演会」の開催(暫定版)

主催:医療放射線防護連絡協議会
共催:日本医学放射線学会
後援:日本医学会

東日本大震災に伴う福島原発災害により、市民の多くが放射線・放射能の混乱と極度の不安のために、健康影響への深刻な事態が予測されます。また、福島原発災害からの放射能による食品・飲料水への汚染は、大きな社会問題になっております。

この様に福島原発災害は、環境中の放射線が上昇し放射能汚染の拡大により、多くの乳児や妊産婦のおなかの赤ちゃんへの影響を心配し、極度の不安やストレスが懸念されます。

今回は、この未曾有の福島原発災害により、生まれるべき大切な生命への危惧が懸念されます。私たちは日頃、医療の放射線医療・放射線安全に係っており、医療の放射線・放射能を安全に有益に利用し、その恩恵を市民と共有するためには、この大惨事を皆様と一緒に克服することが必要です。このチャリティー講演会では、東日本巨大地震災害義援金を受付けております。

- ◆ 日 時:平成23年3月27日(日)13時～16時
(当日 10 時 30 分から整理券配布(12 時開場))
- ◆ 場 所:メルパルクホール
東京都港区芝公園 2-5-20 電話 03-3459-5501
- ◆ テーマ:「福島原発災害にともなう放射線影響とは
放射線・放射能から大切な命を守ろう!
- ◆ 申込方法:
- ◆ 参加費:無料(災害義援寄付を受け付けております)
(内容・講演者は打診中)

13:00～

- 開催挨拶: ①日本医学会会長:高久 史磨(10分)
②日本医学放射線学会理事長:杉村 和郎(5分)
講演者:
 - 菊地 透(医療放射線防護連絡協議会)
 - 大野 和子(京都医療科学大学):司会担当
 - 長瀧 重信(元放射線影響研究所理事長)
 - 香山 不二雄(自治医科大学) 食品衛生
 - 清 哲朗(放射線科医:元厚生労働省医療放射線管理専門官)※講演者:募集中

●パネル討論会

- ・講演者の参加者との討論
- ・閉会挨拶:佐々木 康人(医療放射線防護連絡協議会会長)(5分)

医療放射線防護連絡協議会 事務局
東京都文京区本駒込 2-28-45 日本アイソトープ協会内
FAX:03-5978-6434 jarpm@chive.ocn.ne.jp